

## 只見町ブナセンター初代館長

# 「河野昭一先生企画展」開催記念行事を開催

6月30日午後、「ただみ・ブナと川のミュージアム」での「河野昭一先生企画展」開催（～9/2）を記念する講演会が季の郷湯ら里で行われ、約60人が参加しました。河野先生（2016年故）は著名な植物学者であり、只見町ブナセンター初代館長（後に名誉館長）を務められた方です。

講演会では、河野先生と本町のブナ林の学術調査を実施してきた北村系子さんが、先生の研究成果などについて解説した後、関係者が座談会形式で先生との思い出を紹介しました。



▲後半には、関係者による座談会が行われた



▲観察会に参加した皆さん

同日の午前中には、深沢の余名沢ブナ林で自然観察会を実施しました。今回は二次林（一次林が伐採などで破壊された後、自然または人為的に再生された林）の利活用がテーマとなっており、ブナなどの広葉樹の二次林や植林地など人との関わりで成立した林を中心に観察を行いました。

また、町ブナセンターの紙谷館長が新潟県の事例を紹介しながら二次林の利用方法や今後の展望などを解説し、原生林だけでなく本町の二次林についても理解を深める貴重な機会となりました。

## 会津体育協会の優秀指導者賞

# 只見卓球クラブの鈴木さんが受賞！

6月16日、喜多方市で開催された会津総合体育大会卓球競技にて、只見卓球クラブの鈴木英志さん（只見）が会津体育協会の優秀指導者賞（令和元年度）を受賞されました。鈴木さんは、クラブでの精力的な指導はもちろん、会津強化指定選手への指導協力なども行っており、そうした活動が認められ、今回の受賞となりました。

只見卓球クラブは、毎週木・金曜日（19：30～）に町下体育館で練習を実施しています。興味がある方はぜひご参加ください。



▲只見卓球クラブの皆さん（右から3番目が鈴木さん）

## 旧国鉄色のレトロなデザインに！

# JR只見線代行バスのラッピング車両が運行開始

7月2日より、只見駅～会津川口駅を運行するJR只見線代行バスに新たなラッピング車両（1台）が導入されました。同車両は只見線全線運行再開（2021年度中を予定）までの運行が決定しており、只見線と合わせて只見町・金山町の魅力を発信することが目的です。

車両には、ゆるキャラ（ブナりん、かぼまる）の他、エゴマやつる細工、天然炭酸水等、両町の特産品などのイラストが描かれています。また、旧国鉄色のデザインを使用しており、どこか懐かしさを感じさせるレトロな雰囲気となっています。



▲只見駅前に停車するラッピング車両



▲走行中も目を引くデザインとなっている  
※カラーでお見せできません申し訳ございません。  
旧国鉄色のデザインは表紙のJR車両をご覧ください。

運行初日にラッピング車両を利用した方々からは、「レトロでかわいらしいデザイン」「目を引くデザインで良いPRになる」などの声が上がりました。町では今後、全線運行再開に向けて周辺市町村と連携をしながら、関連イベントの実施やノベルティの作成などにも着手していく予定です。

※ラッピング車両の運行時間に決まりはありません。

## 上下水道の大切さを学ぶ

# 朝日小、明和小児童が施設見学学習を行う

7月4日と9日、朝日小学校・明和小学校の4年生（5人・9人）が各浄水場や浄化センター、リサイクルセンターで施設見学学習を行いました。同学習は、普段の生活とともにある上下水道の施設を見学して施設の仕組みや水の大切さを学び、今後の生活に活かすことを目的に実施されています。

町職員や管理会社の案内で見学を行った児童たちは、各自でメモを取ったり、質問をしたりと熱心に取り組んでいました。



▲9日、小林浄水場で（明和小）



▲4日、リサイクルセンターで（朝日小）

美しいハーモニーが響き渡る

## 明和小学校でマリンバ演奏会を開催

7月10日、広島を拠点に国内外で活躍されているマリンバ奏者の石原有希子さん（ピアノ：奥村静香さん パーカッション：ダニエル・バルトロメさん）が明和小学校を訪れ、演奏会を開催しました。演奏会は、福島県の復興支援を目的に行われており、本町を皮切りに県内数か所で開催されています。

当日は、「銀河鉄道999」や「花は咲く」など様々な曲が演奏され、参加した児童や町民の皆さんは、美しく繊細なメロディーを楽しみました。また、演奏会後には児童たちがマリンバの演奏体験を行い、皆で交流を深めました。



▲演奏会を行った皆さん（中央がマリンバ奏者の石原さん）



▲新種候補の「タダミヨコバイタケ」（仮称）



▲冬虫夏草の講演会を受講する参加者

新種候補7種類の発表も

## 冬虫夏草の全国大会が行われる

7月13～14日、日本冬虫夏草の会とうちゅうかそうによる第39回全国大会が季の郷湯ら里で開催されました。冬虫夏草とは昆虫に寄生する菌類のことです。全国各地から57人の関係者が集まり、講演会や研究発表などが行われました。

同日に行われた観察会では、40種類を超える冬虫夏草が確認され、貝津好孝（日本冬虫夏草の会副会長）さんから「時期が早いにもかかわらず予想以上の成果。只見の自然環境が豊かな証拠だ」と驚きの声が上がりました。

また、大会後に只見の自然に学ぶ会との共催で開かれた講演会の中で、只見産の新種候補となる冬虫夏草7種類の発表もあり、同大会は本町が冬虫夏草の宝庫であることを広くPRする絶好の機会となりました。

安全運転を心がけましょう

## 交通安全テント村で啓発活動

7月22日、町内を走行するドライバーに安全運転を呼びかける「交通安全テント村」が町内3地区で行われました。テント村は、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動の一環として例年実施されており、各地区の交通少年団や交通安全協会、交通安全母の会などが参加し、啓発活動を行っています。

当日は、交通少年団として参加した町内の小学生が、啓発チラシや折り鶴がついたキーホルダーなどを手渡し、ドライバーの皆さんに安全運転を呼びかけました。



▲交通少年団として安全運転を呼びかける児童（只見地区）

## 第101回高等学校野球選手権 福島大会

### 只見高校野球部渡部倫主将が選手宣誓

7月10日、いわきグリーンスタジアムで行われた同大会開会式で、只見高校野球部の渡部倫<sup>りん</sup>主将が選手宣誓を行いました。選手宣誓は、出場81校75チームの代表となる大役であり、渡部主将は「令和という新たな時代にふさわしい最高の笑顔で、一球に魂を込めて最後までプレーを続けることを誓います」と堂々と宣誓しました。

只見高校は、16日の2回戦で郡山高校に敗れましたが(2対7)、最後まで全力でプレーする選手たちの姿は多くの町民に感動を届けました。



▲選手宣誓を行う渡部主将



▲対郡山高校戦

## 楽しみながら健康づくり！

### ブナりん健康ポイントを集めましょう！

「ブナりん健康ポイント制度」は、高齢者の皆さんが健康づくりや介護予防に楽しく取り組めるよう、平成29年4月からスタートしました。同制度は、「地域づくりサロン」や介護予防教室、町が主催する健康講座、各種健診などに参加するとポイントをもらうことができ(1回参加すると1ポイント)、ポイント数に応じて健康グッズや只見町商品券と交換できる仕組みとなっています。

今回は、50ポイントに到達された皆さんを紹介します。これからもサロンや健康講座などに積極的に参加し、ポイントを集めてくださいね！



河原田 宏子さん (只見)



小林 サト子さん (布沢)



小林 トシ子さん (布沢)



角田 和子さん (布沢)



山内 アキさん (布沢)



山内 君子さん (布沢)